



# 志學館大学生涯学習センター通信

## 平成27年度ニューライフカレッジ霧島 隼人学「五感で学ぶ地域の魅力」を終えて

霧島市教育委員会・鹿児島高等専門学校との連携講座「ニューライフカレッジ霧島」は受講者の皆さんと学びを重ね、今年度も全10回を好評の裡に終えました。今号では後半の6回分について報告します。第5回は国分公民館、第6回以降は鹿児島高専が会場でした。(岩橋恵子・山崎桂子・木佐木和代)

### 第5回

#### 鹿児島弁という音楽

植村紀子氏 (児童文学作家)

『ぐるっと一周！鹿児島すごろく』を使った自己紹介から始まり、谷川俊太郎の詩を契機に鹿児島弁ことばあそびの著作活動に入られたことを話されました。その活動内容を巧みな方言と指人形などの小道具を駆使して、また会場との掛け合い「よかけ」「よかど」や「よかねえ尽くし」作りで紹介され、大いに盛り上がりました。音楽のような美しい鹿児島弁を自信を持って使い、後世に残して行きたいとの熱意を感じました。アンケートには早速「植村先生おやっとなさあ。今日はよか日だったど」「鹿児島弁をすんばい使って暮らしましょう」などとありました。



### 第6回

#### 霧島温泉のもたらす KOUNOU

六三四氏 (温泉ソムリエ)

温泉は、健康づくりだけでなく、地域づくりの拠点でもある大切な鹿児島の文化であり、その「温泉文化」をみんなで守っていきましょうと、数々のうんちくを交えながら熱く語られました。とくに霧島温泉については、江戸時代の資料にもでてくるかなり古くから日本中で知られた温泉だったことや、また一言で「霧島温泉」といっても、泉質も一般的適応症も実に多様であることなど、映像を使いながら、その歴史・文化が興味深く話され、温泉の楽しみ方が大いに膨らむ時間となりました。



### 第7回

#### 福山の「壺づくり黒酢」

長野正信氏 (坂元醸造株式会社・専務取締役)

米酢の中でも壺づくり黒酢は、200年前から霧島市福山町に伝わる伝統的な製法によるもので、この地の自然や交通の便、そして人々の知恵と工夫によって守られ発展してきたことが詳細に語られました。そして黒酢が健康に役立つこと、例えばアスパラギン酸が美容によく、酵素を持つ黒酢が血管を柔らかくする等々が、わかりやすく説明されました。試飲の黒酢も、爽やかな香りに包まれながら「おいしい」「元気が出た」と大好評でした。



### 第8回

#### エンジョイ！霧島茶

竹之内裕子氏 (日本茶インストラクター)

静岡に次ぐお茶の生産県である鹿児島、その中の霧島茶について学びました。まず竹之内氏による茶の歴史や品種と特徴についての講義。その後遊楽(ゆら)の会の皆さんのご協力でテイस्टイングし、茶葉の量・お湯の温度・時間に気を付けて美味しいお茶の淹れ方を実習しました。後半は5種の茶葉を自分の好みでブレンドして飲み、感想を発表しました。最後に竹之内氏は急須のない家庭も増えている今日、「すっきり透き通った黄色の霧島茶」をもっと地元へPRして行くことが課題だと述べられました。霧島をお茶の色と香りと味で感じたひと時でした。



### 第9回

#### 太陽が作る宇宙の天気 —宇宙の入り口鹿児島から 太陽を見る—

篠原学氏 (鹿児島工業高等専門学校・教授)

ロケット発射場のある種子島・内之浦のある鹿児島は「宇宙の入り口」という魅力的な言葉に引きつけられながら、「宇宙の天気」の話を知りました。太陽からは常にガスが流れ出していて非常に強力な「太陽風」が吹き、また電磁気的な環境の変化が宇宙空間では日々起きていて、宇宙天気が生み出されるといった興味深い話に引き込まれました。そして宇宙天気の影響で、オーロラという美しい現象と同時に、私たちの暮らしに不可欠となっている人工衛星に悪影響もあるというお話に、遠い宇宙の世界が身近に感じるきっかけとなりました。



### 第10回

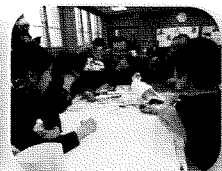
#### 五感を使って人生を楽しもう！

基調講演 中河志朗氏 (鹿児島大学医学部・名誉教授)  
& ワークショップ

前半の中河氏の基調講演では、使わないものは退化しなくなってしまう人間の体のメカニズムと、元気な体の維持のためのポイントが話されました。なかでも五感を使うことは最も大切なことのひとつで、見る、聴く、嗅ぐ、味わう、皮膚の感覚が人間らしく楽しく生きるための鍵になることが、いろいろなエピソードをまじえわかりやすく指摘されました。

後半のワークショップでは、グループに分かれ、1年間の講座で学んだことを確認しあった上で、「五感を使ってこれからやってみようと思うこと」をそれぞれ話し合いました。

「五感に心地よい鹿児島弁でどんどんしゃべろう」「引っ込まないで、人や自然とのふれあいを大切にします」「料理の味付け、人との会話、楽しい音楽、自然の美しさを大切にします」等、前向きで積極的な人生を語り合いました。



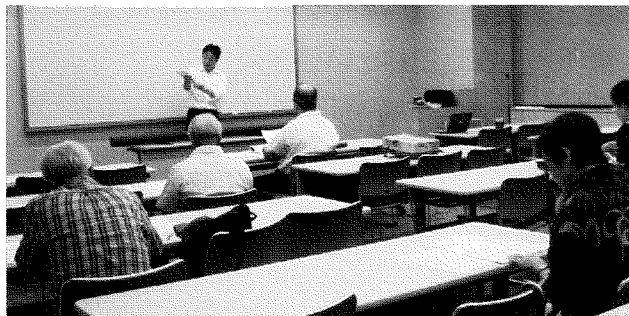
## かごしま県民大学連携講座「身近になった相続税」

かごしま県民大学中央センターとの連携事業として毎年、本学の特色を活かした、あるいは時宜を得た内容の公開講座を開いています。平成27年度は9月5日(土)に、税法の専門家による講座をかごしま県民交流センターにて実施しました。

講師の井上隆准教授は元国税専門官の経験もあり、平成25年度の税制改正について、具体的なケーススタディや実際の計算手順などの内容も盛り込んだ、わかりやすい内容となりました。

受講者の方々は大変熱心なご姿勢で、質疑応答も活発でした。実際に相続を経験されて、または現在相続に直面されている方が多かったようです。そうでない方も、「いずれは相続に関わることになるので、その予備知識を習得することができてよかった」、「説明資料が理解しやすかった」と好評でした。

本学の専門領域は、法学や経営学、心理学、文学、語学、史学、地理学、その他に広がっており、多彩な専門家が日々わかりやすい講義を展開しています。今後も市民の皆様のニーズにお応えしていきたいと考えております。(志賀玲子)



かごしま県民交流センターでの講座風景

## かごしま生涯学習センター研究会の取り組み

かごしま生涯学習センター研究会は、鹿児島県下の大学で生涯学習関連の研究や事業に取り組んでいる研究者と、地域現場で社会教育・生涯学習を担う専門職員を中心に一昨年に設立されました。本生涯学習センターは地域の高等教育機関・生涯学数機関とのネットワーク化およびセンター事業の開発研究の一環として参加しています。今年度は、主に次の2つの活動を行いました。

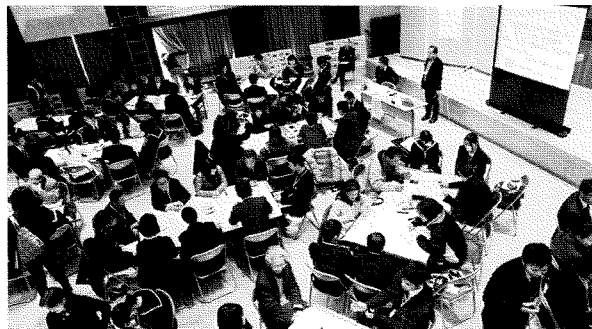
一つは、長年地域の社会教育・生涯学習の仕事に携わってこられた専門職員の仕事の聴き取りです。昨年は6名の方から貴重なお話を伺うことができましたが、とりわけどのように専門職員としての力量を形成されてきたのかという点については、地域のリーダー養成を任務の一つとする生涯学習センターの今後の事業展開にも多くの示唆が含まれていました。この詳細は、

近く報告書として公表する予定です。

いま一つは、社会教育・生涯学習に取り組む人々とのネットワークづくりです。なかでも南九州から約200名が参加して、地域の活性化のための学びを深めた「大学で話すみんなの暮らし」(文部科学省平成27年度<学びによる地域活性化プログラム普及・啓発事業>)は、今後の事業展開に有益なスキルと情報、多くの交流が展開されました。これは鹿児島大学COCセンターが中心になって企画した事業ですが、かごしま生涯学習センター研究会も実行委員会として参加し、世代を超えた幅広いネットワークづくりの一歩となりました。

これらの成果を本生涯学習センターの今後の事業にも大いに生かしていきたいと思えます。

(岩橋恵子)



「大学で話すみんなの暮らし」ワークショップの様子

写真提供：鹿児島大学

# 生涯学習な人

「生涯学習な人」としてインタビューさせていただきたいとお願ひしたとき、「大したお話しはできませんよ」と釘を刺されたのですが、実は生涯学習の大した達人でした。

生涯学習センター長（以下セ） 共修講座を受講されたきっかけは何だったのですか？

高崎 子どもたちに英語を教える仕事をしていたのですが、自分に欠けているものを感じ、外に出て行って勉強したいという思いがずっとありました。それで家庭と仕事の合間を縫って地域サークルや大学、公民館といろいろな場で学んできました。昨年、インターネット検索で志學館大学でも学べることを初めて知って受講し始めました。

セ 共修講座はもう15年近く実施しているのですが、インターネット広報は十分ではなかったですね。申し訳ありません。それで受講されていかがでしたか。

高崎 まず、若い学生さんと一緒に学ぶことがとても楽しいです。元気をもらえますね。20歳ぐらい若返った気がします、外見は変わらなくてもね（笑）。

セ 英語を学ばれているのですよね。仕事には役立っていますか。

高崎 実は家庭の事情で3年前に仕事を辞めたので、今はフリーな立場です。

セ とすると目的も変わってきている……？

高崎 そうですね。仕事を辞めたとき、何もなくなったという思いがありました。それでも残っていたのが、勉強することでした。

セ なぜでしょう？

高崎 生きがいといったらいいでしょうか。かつては仕事上からの義務感でしたが、今は英語を学ぶことが楽しめるようになってきている気がします。授業では、自分に足りないものが見えてきて、それを補えてきていることが実感できています。英語で即答できる力や速読の方法などです。3年前と昨年受けた TOEIC では700点代だったのですが、今年は910点だったのはそのおかげと思っています。

セ すばらしいですね。義務から解放されて学びが真に自分のものになったということなのではないでしょうか。

高崎 そうですね。それで楽しめるようになっているのですね。

セ 週に2回の授業以外にも何かされているのですか。

高崎 地域のサークルや国際交流協会にも参加したりしています。

セ では、お忙しい毎日ですね。

高崎 いまやっとなです。ようやくそうした生活に入れたということですね。

セ これからの夢などをお聞かせ下さい。

高崎 英語を学ぶことで人生を楽しんでいきたいですね。とくに外国に行こうとかいうことではなく、それは鹿児島でもできることだと思っています。

セ 最後に、一緒に学んで楽しいとおっしゃった志學館大学の学生に一言お願いします。

高崎 志學館大学は本当に恵まれた環境だと思います。この年齢でも一気に TOEIC が上がりましたから、学生さんは本気になったらもっと上がると思います。頑張ってくださいね。

セ ありがとうございます。

【インタビューを終えて】

仕事をしながら、子育てに介護に一生懸命に生きてきて、いまようやく楽しみながら学べるようになったとおっしゃる高崎さん。「大学で学ぶのは認知症予防」と笑いながら語られた言葉の奥に、学ぶことが前を向いて生きることという、生涯学習の真骨頂を教えていただいたように思いました。（岩橋恵子）



高崎富紀子さん

## 共修講座

社会人の方々と学生が共に学び合う「共修講座」に、2015年度・後期も多くのの方が受講してくださいました。ここに受講者の方々の声をお届けします。

- ・説明がわかりやすく勉強になりました。ありがとうございました。
- ・先生が準備して下さる資料をもとに、毎回内容の濃い貴重な授業は、とても興味深いものでした。
- ・社会人が学習したい時に機会が得られるのはよいと思います。ありがとうございました。
- ・刺激的で、積極的に参加することを求められていて勉強意欲をかきたてられました。
- ・先生が常に笑顔で柔らかな教え方をしてくださるので、こわばらずにとっても快く受講できました。
- ・わかりやすい指導技術と学生とのコミュニケーションの在り方が大変好評でした。
- ・常にわかりやすく丁寧に講義をしていただき感謝いたします。

上記の他にも「励みになります」「有意義でした」等の感想をいただきありがとうございました。本学の学生にとりまして皆様と共に学べますことは、大変良い刺激をいただいているようです。これからも多くの方々の受講をお待ちしております。

（野浪俊子）

## 志學館大学大学祭 いちょうさい 「银杏祭」展示

第37回银杏祭が2015年11月21日（土）、22日（日）に開催され生涯学習センターと地域協働センターの合同で活動記録の展示を行いました。

展示ブースには、地域協働センターでのボランティア活動紹介を行う学生たちが参加し、来場者に展示を見た感想を書いた紙を貼り付けてもらったり、アンケートに答えてもらい粗品を渡したりと工夫を凝らした展示で来場者を楽しませていました。

地域と大学が連携したさまざまな事業やボランティア活動をより身近に知っていただく良い機会となりました。（森実紀）



志學館大学生生涯学習センター  
地域協働センター室にて

## 平成28年度 生涯学習センター ～ 開講講座のお知らせ～

### ■ 《2016年 ニューライフカレッジ霧島》

【志學館大学・鹿児島工業高等専門学校・霧島市教育委員会 連携講座】

テーマ：隼人学「となりのあの人に学ぶ 地域・魅力・発信」



<前期(5月～9月) 9:30～11:30 会場:霧島市国分公民館/志學館大学(7月のみ)> <後期(10月～2月)9:30～11:30 会場:鹿児島工業高等専門学校>

5/14 (土)	・開講式 ・「キシマツツジの普及をめざして」 国分中央高等学校 園芸工学科生徒	10/8 (土)	・「夢をかなえるスポーツのチカラ！」 木原正人 (NPO法人隼人錦江スポーツクラブマネージャー)
6/11 (土)	・「地域の魅力をミュージカルで」 地蔵原勇 (NPO 法人きりしま創造舞台理事長)	11/12 (土)	・「金山史跡で地域活性化！」 宇都隆志 (山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会委員長)
7/9 (土)	・「こうして伝えた 霧島の食文化・食のドラマ」 千葉しのぶ (NPO 法人霧島食育研究会理事長)	12/10 (土)	・「吉野兵六でつなぐ地域づくり」 永山恵子 (NPO 法人地域サポートよしのねざぼうず理事長)
8/6 (土)	・「共生協働で地域を発信 ～Lab 蒲生郷10年のあゆみ～」 丸野博和 (NPO 法人 Lab 蒲生郷副理事長)	1/14 (土)	・「ごったん演奏でまちを元気に発信」 永山成子 (元財部北小学校)
9/10 (土)	・「ふるさとみがき in 牧園」 手島正次 (史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会会長)	2/11 (土)	・ワークショップ 「となりのあの人に学ぶ 地域・魅力・発信」 コーディネーター: 岩橋恵子 (志學館大学教授) ・閉講式

\*5/14と2/11は、9:30～12:00までの時間となります。

### ◆ 《よくわかる語学講座》

◆志學館大学生涯学習センターでは、市民（初心者）の皆様のための語学講座を開講します。  
◆会場：サンエールかごしま ◆受講料：12000円（全10回分） ◆定員20名（申込者多数の場合は抽選となります。）

日 時	内 容	講 師	受付期間
5月24日(火)～8月2日(火) 毎週火曜日(10回講座) 19:00～20:30	よくわかる韓国語講座(初心者対象) ～韓国語で話そう～	入 佐 信 宏 (志學館大学教授)	4月11日(月) ～5月20日(金)
9月27日(火)～12月6日(火) 毎週火曜日(10回講座) 19:00～20:30	よくわかる中国語講座(初心者対象) ～中国語で話そう～	谷 口 明 夫 (志學館大学名誉教授)	9月16日(金) ～9月23日(金)

\* 詳しくはホームページをご覧ください。

### ◆ 《共修講座》

◆前期・後期、それぞれ本学の正規授業の一部を市民の皆さんに提供しています。  
・開講式 前期：4月11日(月) 後期：9月23日(金)  
※詳しいパンフレットをご用意しております。生涯学習センターへお問い合わせ下さい。

### ◆ 《学校臨床セミナー》

◆2016年度 志學館大学公開講座  
第16回 「学校臨床セミナー」  
・開催日：8月4日(木) ・場所：志學館大学(予定)  
※内容の詳細が決定次第、ホームページに掲載します。

### ◆ 《かごしま県民大学連携講座》

◆志學館大学・かごしま県民大学連携事業：テーマ「生活の中のリスクマネジメントを考える」  
◆会場：かごしま県民交流センター ・定員：各講座30名 ・受講料：各講座500円

8月27日 (土)	10:00～12:00 【第1回】「生活に役立つ法知識～相続編～」	講 師 牧野 高志 (志學館大学法学部准教授)
	13:00～15:00 【第2回】「鹿児島流リスクマネジメント～稲盛和夫の経営学から学ぶお金の管理～」	講 師 平手 賢治 (志學館大学法学部教授)
8月28日 (日)	10:00～12:00 【第3回】「家族が認知症と告げられたとき」	講 師 飯干紀代子 (志學館大学人間関係学部教授)
	13:00～15:00 【第4回】「生涯の健康リスクの予防」	講 師 大村 光一 (鹿児島女子短期大学教授)

\* 上記の各開講講座やその他の詳細は下記の志學館大学生涯学習センターにお問い合わせください。

### 志學館大学資格センターからのお知らせ かごしま検定試験対策講座



学生向けの資格センターの講座がこの度初めて、市民の皆様もご受講いただけることになりました。受講料は無料となりますのでおすすめです。ぜひ学生と共に鹿児島の観光や文化について学んでみませんか。

講座担当：志學館大学非常勤講師  
NPO 法人かごしま探検の会 東川隆太郎 氏  
受講料：無料 かごしま検定受験料：3,240円  
教材費：2,160円 ※鹿児島商工会議所編「かごしま検定公式テキストブック」  
増補改訂版を事前に購入してください。

#### ◎6月試験対策コース

回	日程	時間	講義内容
1	5/10 火	16:20～19:20	第1章 自然 第2章 歴史
2	5/11 水	16:20～19:20	第3章 文化 第4章 地域の特徴
3	5/19 水	16:20～17:50	第5章 産業・経済

申込締切 4/26 ☑

#### ◎2月試験対策コース

回	日程	時間	講義内容
1	12/21 火	13:00～17:50	第1章 自然 第2章 歴史 第3章 文化
2	12/22 木	13:00～17:50	第4章 地域の特徴 第5章 産業・経済

申込締切 12/7 ☑

受講希望の方は下記へご連絡ください。資料を送ります。

TEL:099-812-8501 (代)  
Email:shikaku@shigakukan.ac.jp

お問い合わせ  
お申し込み先



志學館大学生涯学習センター

住 所 〒890-8504 鹿児島市紫原1丁目59-1

Tel.099-812-8501 Fax.099-257-0308

URL <http://www.life.shigakukan.ac.jp>

Email [life@shigakukan.ac.jp](mailto:life@shigakukan.ac.jp)

編集：野浪俊子・森実紀